

て油絵具の摺込みをしてみたが、仕上り、加工性共良好であった。

○ 書類箱、レターボックス

材料 屋久杉、桑、けやき

甲板と底板に屋久杉のつき板張りしたもので、屋久杉材と異種材を併用することによって、屋久杉をより引立てることを試みたもので、一応所期の目的は達したが、異種材の選定を誤るとかえってマイナスの結果になる可能性がある。

○ コースター、トリベット

45mm角材（タル木のサイズ）から作れるものとして考えてみたもので、このことは材料の乾燥の安易さと加工性（量産）を基本としたもので、小サイズの材を有効に使えて変化に富んだ製品が考えられる。又建築材（柱）等にも応用可能である。

○ モビール

普通モビールには紙、布等軽い材料を使ったものが多く、そのような材質のものは非常に良く動くが、

この試作品については、わりに重量もあり動きは鈍いが、それだけに材質感とマッチした動きのため良い結果が得られたと思う。

考 察

試作品全体を通して感じることは、木製の場合特に材質感を強調する意味において、できるだけ単純な形態にまとめた方がより効果的のようである。このことはデコレーション的加工の多いものより至難なことかも知れないが非常に重要な要素だと思う。

現在本県において作られている木製土産品の殆んどに感じることであるが、何となく軽い感じのものが多くようである。このことは量産だけに走り過ぎたり、形そのものに問題がある場合も多いと思われるが、先ず消費者の立場、要求にマッチしたもの、本当に喜んで使えるもの、それには機械生産の中にも、芸術品を作る精神が先ず必要ではないかと思うし、観光土産品の中にクラフト的な要素をもちこむことが品質の向上につながることはなからうか。

住いのための室内用具……設計シリーズ Ⅲ

研究員 楠 畑 裕 也

文化、科学、経済の高度成長による社会構造の変化に従い、生活環境が大きく変遷してきている。人口の都市集中化にともなう集団住宅地の建設、情報及び交通機関の高度、高速化、更に新しい産業の発達と企業の大規模化など社会全般の動きが人間活動を中心に組織的に開発され、新しい生活の場が造られつつある。そこで表記の研究課題のもとに従来の家具のパターンにとらわれず、その用途性を追求することによって、これからの住いに適応する新しい室内用具…すわる・ねる・おく・しまう・つるための用具…のデザインを目的とする。

この目的にそって今年度は休息をテーマにして次の二点をデザインした。

イ、休息いかだの設計と試作

ロ、スリーピングベンチの設計と試作

イ、休息いかだの設計と試作

I 設計の目標

寝室にかぎらず居間や個室などでも簡易に休息したり或いは就寝することもできるものとする。

Ⅱ 設計の条件

1. 機能——休息の体位を考慮し起床構造としマットをダブルサイズにする。
移転の合理化のため解体式にする。
2. 装飾性——室内の調和をこわさない簡易とする。

Ⅲ 設計

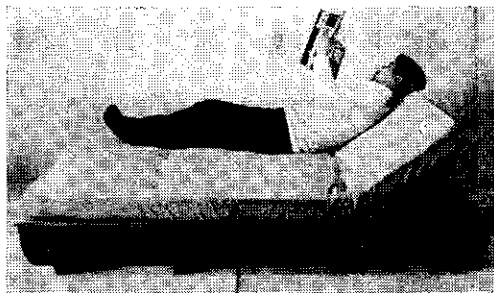
設計図省略

Ⅳ 試作

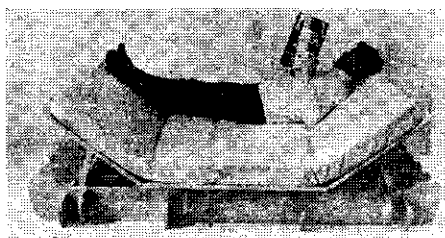
使用例 1



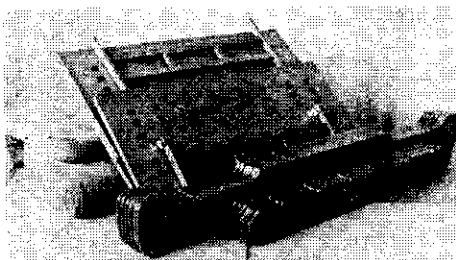
使用例 2



使用例 3



解体図



ロ、スリーピングベンチの設計と試作

I 設計の目標

短時間の休息のため横に臥せることも座ることもできるものとする。

II 設計の条件

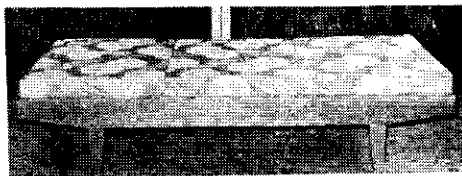
1. 機能……全身を横えて休息する体形に合せられるもの。
2. 装飾性……室内の調和をこわさない範囲とする。

III 設計

設計図省略

IV 試作

使用例 1



使用例 2



使用例 3



使用例 4



考察

座る生活から立つ生活へ移行する場合、横臥して休息することをどのようにして解決するかということがこれからの住いの生活空間と生活システムを方向づけるポイントになると考えられる。その意味において今後安息のための用具を積極的に開発しなければならないであろう。